

# 警報時報

行發日六十二  
編輯兼發行 岡田弘成  
印刷所 警報時報社  
發行所 警報時報社  
一部金銀 一月金十圓  
廣告料 一行十四字五圓  
日刊日曜祝祭日(翌日休刊)

## 警銀預金の訴訟 預金者側敗訴

### けふ平支部で判決

去る昭和三年休業した警報銀行者側敗訴の判決言渡しがあつた。資本金七十五萬圓は昭和六年破産を宣告されたが、預金者は昭和十一年預金不拂の損害賠償請求訴訟を休業當時の重役を相手に提起した。ところが双葉郡川内村渡邊軍平氏外五十六名の五萬一千圓、茨城縣多賀郡磯原町長瀬捨吉氏外二十六名の八萬四千圓の請求訴訟の判決は二十六日午前十一時平支部審判長から原告の請求を棄却すと預金

## 久濱・勿來間の 觀光協會生る

平市を中心とする警報平觀光協の危機を救つた功績により知事會は勿來、久濱、植田、泉、内から表彰される事になつた。郷、平、四倉、大浦、大野、草野、小名濱、江名、豊間、鹿島赤井、小川、川前を範圍として組織する事となり来る二十九日平市に開かれる石城郡町村長會四倉町では工費四萬八千圓で小に附随する事になつた。決定す學校十教室を増築するに決し近れば招待、宣傳費として六百圓、着工来る、六月竣工の豫定でを計上し四月から事業に着手す。用材一萬九千圓分は町有林から供給する。

## 平警防團 表彰さる

平市警防團は昨秋夏井村の大六二十五日軍用馬鞍練習會が平市八の際逸早く出動して一部落全滅掃小路で行はれたが、市内平建

## 銃後に 感心な女性

四倉町に於ける一ヶ月の木炭消費量は三千俵であるが、町民は昨今の木炭飢饉に悩まされてゐるので町當局では奮勵來炭斃人

## 四倉校増築

四倉町では第一回部落常會を左の如く開く  
▲二十六日植田、山田、仁井田▲二十七日立高倉、江州▲二十八日添野、石塚▲二十九日東田、佐藤▲三十日岩間、小

## 名譽の戦死者

### ▲竹森一等兵

上遠野村出身竹森良雄一等兵は舊曆二十日中支戦線〇〇で戦死した旨二十四日實家に公電があつた。同君は七郎さん(五一)の次男で實家は農業を營み両親の外兄弟九人がある。

## 上遠野上等兵

上遠野村瀧尻出身上遠野正義上等兵は十八日中支戦線で戦死した旨公電があつた。同君は出征前まで泉驛の臨時線路工夫をつとめてゐたが家族は母ヤンさん(五九)と姉ミサ子さん(二八)の二人暮らしである。

## 菊地上等兵

小名濱町古港出身菊地勝好上等兵は舊曆十七日中支戦線で戦死した旨公電があつた。實家には父彦太郎さん(五七)母あきさん(二五)兄武藏さん(二八)外兄弟七人がある。

## 赤津上等兵

勿來町關田出身赤津勝太郎上等兵は舊曆十七日中支戦線で戦死した旨公電があつた。實家には父彦太郎さん(五七)母あきさん(二五)兄武藏さん(二八)外兄弟七人がある。

## 湯本藝妓屋で 國防婦人會組織

湯本町料理屋、藝妓屋組合では夫十數名を雇入れ町宇栗木作獨立して國防婦人會第十一班を組織した。組合長比佐ヤスさん副組合長鈴木ヒデさんと鈴木トヲさんで、二十三日發會式を學行した。

## 植田部落常會

植田町では第一回部落常會を左の如く開く  
▲二十六日植田、山田、仁井田▲二十七日立高倉、江州▲二十八日添野、石塚▲二十九日東田、佐藤▲三十日岩間、小

## 四倉町の 木炭生産

四倉町に於ける一ヶ月の木炭消費量は三千俵であるが、町民は昨今の木炭飢饉に悩まされてゐるので町當局では奮勵來炭斃人

## 酌婦を世話する 四百圓を詐取

上遠野村瀧字島無職長谷川光事高原新助から酌婦を世話する雄(三三)は舊曆下旬東白川郡竹とて二回に亘り四百圓を詐取し貫村字下町石村南佐藤將平(二二)を事發覺二十四日植田署に檢舉(八)と共に該酌婦がなくて困つてされた。

## 無名の前戦勇士から 涙ぐましい手紙

四倉小学校に於る二十四日戦地のため児童に炭でも買つてあより無名の勇士として一通の手紙を下さり下さいとあつた。篠原面が到着したが、中には金五圓校長外各職員は無名の勇士の心の小爲替があつた。書面には、掛に感謝してゐる。

## メツキリ殖えた 玉抜き行為

最近めつきり桂庵共がはびこつて娘を悪周旋屋の甘言に胡化玉抜き行為が多くなつた。現されて酌婦から娼婦へと鞍替へる。市内には約五百の酌婦、給仕するものが續出して娘を一生暗婦、娼婦などがあつた。わが世の中に送るばかりか、これない親爺共が得たの知れぬ金から醸し出される恐ろしい世相あやつられてたつた一人の可愛を見ても見ぬ振りをすると言つ

## 山東省模範夏鎮特別區 劉自衛團長の表彰

○月二十六日菊池部隊長は部隊警備地區の四方に位置する夏鎮行政指導と同日二十七日にも漢口陥落の記念すべき日に際して開催される民衆大會に臨むため部隊本部を自動車を以て出陣、沿線の民情を視察しつゝ夏鎮に向つた。收穫を終へた農民が次の收穫の準備に馬の背中に輕快な鞭の音を響かせつゝ、出陣をな

## 第一校生 慰問袋

平第一校二年生一組一同は前線將兵に送つて下さいと真心こめて作つた慰問袋二個を平市中寄托した。

## 出羽氏寄附

四倉新町出羽氏寄附氏實母ツメ女史は永らく病氣中去る廿二日東京に於て死去したが、掛次郎氏は母の遺言に依り百八十四圓を左の通り寄附した  
△七十圓小学校備品購入費△三十圓四倉水産商業青年學校の備品購入費△三十圓新町第十五區家庭防空隊第一、二、三群△二十四圓新須賀青年分團

## 賭博犯檢舉

植田署の賭博狩りは愈々追究鋭く二十四日は勿來町酒井字高畔料理店小坂己之吉(五九)大日本炭礦坑夫大井川正雄(三三)同吉田常吉(三〇)同中村八郎(三三)等八名を檢舉した。同人等は十三日頃から小坂方で花札賭博を開張してゐたのである。

## 人絹職工 ガス爐に轉落

錦村奥羽人絹工場職工山形縣東村山郡水崎町生れ龜井己之吉(四二)は二十三日午後五時二十分頃二又余の高所から二流化炭素發生爐に轉落頭部を粉碎即死した。

## 中野齒科

平市中野(電五〇九)  
院長 中野 憲次

### 貸借對照表

第拾壹期末 昭和拾四年拾壹月參拾日

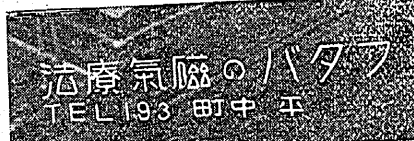
株主勘定	七五、〇〇〇・〇〇	未拂込資本	七五、〇〇〇・〇〇
資本	七五、〇〇〇・〇〇	固定資産	一、二七、八七二・一八
準備金	一、三三、六八五・五〇	流動資産	一、三三、六八五・五〇
貸付金	一、三三、六八五・五〇	現金	一、三三、六八五・五〇
債権	一、三三、六八五・五〇	負債	一、三三、六八五・五〇
株主勘定	七五、〇〇〇・〇〇	未拂込資本	七五、〇〇〇・〇〇
資本	七五、〇〇〇・〇〇	固定資産	一、二七、八七二・一八
準備金	一、三三、六八五・五〇	流動資産	一、三三、六八五・五〇
貸付金	一、三三、六八五・五〇	現金	一、三三、六八五・五〇
債権	一、三三、六八五・五〇	負債	一、三三、六八五・五〇

後期繰越利益 三、三三・三六  
昭和拾四年拾貳月

### 平電力株式會社

式株

強氣電力應用  
神經痛に特效



出前迅速  
御料理  
むぎとろ

平市紅小路 電話四八八

債券・公債  
兩替・金融

### 多田井質店

平市大工町 電話五九一

御誂に既製品

### 高洋販賣會社

電話三八六番

國策線上ノ改良品

### 鑄物の代用品生る

セメント製マンホール 金三五〇錢各種  
同 風窓網 金五十五錢各種  
平市南町二〇

發賣元 **野内商會**  
電話一一番

燒土管 在庫豊富

お惣菜さつま揚・吉原揚

### 折詰屋

平市一丁目

電話一四一番

これは便利!

★手を荒さず  
★絹・毛織物、木綿、スフの生地を傷めず  
★つけておくだけで洗へる

### マルミ粉末石鹼

製造元 平市材木町一一

安田生命 保  
日本共立火災 險  
東京動産火災 險

平代理店 **井上貞治郎**  
平市五丁目 電話六六番

### 貸地廣告

平市宇新田前二六番ノ一 (縣道ニ副フ西側)  
間口四間一分 六十坪  
奥行 十五間 六十坪  
貸地料一坪二十五錢ノ割  
洋細ハ左ニ御問合セ下サイ

中市大町  
**中野勇吉商店**  
電話一三三番

漢方 貼藥 生公華

濕布で各藥

助膜・氣管支・關節・神經痛・肺炎・ロイマチス  
膜・腰痛・中耳炎・骨

平市五丁目  
專賣店 **山野邊藥局**

花柳病科  
泌尿器科  
皮膚科

診療 午前八時より  
午後九時まで  
時間 午後九時まで  
(入院隨意)

### 江尻醫院

醫學博士 江尻伊三郎  
平市田町(電話六九二)

移轉開業 (九月二十日ヨリ)

### 耳鼻咽喉科 專門

### 増田醫院

平市紺屋町(吉田眼科前)  
電話 六五一番

小生病氣療養ノ爲、休院致シ居リ候處今般全快、上記ノ場所ニ移轉開業仕リ候間御通知サレ御挨拶申上候

増田 之

内科外科  
エックス光線  
產婦人科

院長 安齋 徹

平市田町(電話四五七番)  
**安齋醫院**  
入院隨意

小兒科

平市南町  
**志賀醫院**  
電話一六二番  
(入院ノ需ニ應ズ)

産科・婦人科

平市田町  
**井坂醫院**  
電話五五九番  
入院隨時

耳鼻咽喉科

醫學博士 **高柳博明**  
平市驛前(電話三三六)  
レントゲン科